



「アジア・トレイルズ・カンファレンス(ATC)鳥取大会」が倉吉市で開幕。ウォーキング関係者が集い国際会議。

# ウォーキング振興探る

## 倉吉でATC 4カ国240人参加 鳥取大会開幕

来年10月に国内初開催される「ワールド・トレイルズ・カンファレンス(WTC)鳥取大会」のプレ大会として、「アジア・トレイルズ・カンファレンス(ATC)鳥取大会」(WTC鳥取大会実行委など主催、新日本海新聞社特別後援)が16日、倉吉市で開幕した。ウォーキング、トレッキングの発展と健康・福祉の増進などを図る国際会議。ウォーキングによる観光振興や誘客推進策などに意見を交わした。



アジアからの参加者を迎えて鏡開きを行い、ウォーキングを通じた地域活性化を願う出席者＝16日夜、倉吉市山根の倉吉シティホテル

大会には日本、韓国、中国、ロシアの4カ国から関係者ら約240人が参加。3日間の日程で初日は基調講演や事例発表、歓迎行事などが行われた。

倉吉未来中心であった開会式では、WTC鳥取大会長の平井伸治知事が「大会を契機に、アジア全体にウォーキングのムーブメントを起こしたい」とあいさつ。アシックスジャパン取締役マーケティング統括部長の松下直樹氏が、基調講演で行政や民間と連携したスポーツイベントや取り組みを紹介した。

アジア・トレイルズ・ネットワーク(ATN)議長で済州オルレ理事長の徐明淑さんが事例発表し、年間200万人が訪れる韓国の人気ウォーキングコース「済州オルレ」について説明。

徐さんは「人工的な道ではなく、砂や草の道をつないだコース。村の中を通り、村に恩恵が生まれるような仕組みを作り上げた」と、地域の活性化に貢献したことを強調した。ATN総会や歓迎レセプションも盛大に行われた。

17日に湯梨浜町の東郷池を巡る3コース、18日には倉吉市の打吹山や三朝町の三徳山を歩くウォーキングフェスティバルがある。